

国語科 学習指導案

藤井寺市立 道明寺東小学校
指導者 三木 裕介

1. 日 時 令和7年9月 26 日(金) 第5時限(13:45~14:30)
2. 場 所 第1学年2組教室
3. 学年・組 第1学年2組(25名)
4. 単元名 『かいがら』(東京書籍)
5. 単元の目標

【知識及び技能】

・語のまとまりに気をつけて音読できる。

【思考力, 判断力, 表現力等】

・場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像できる。

【学びに向かう力, 人間性等】

・進んで場面の様子や登場人物の行動などの内容の大体を捉え、今までの経験や学習を生かして、登場人物になったつもりで演じようとする。

6. 単元の評価規準

【知識・技能】

・語のまとまりに気をつけて音読している。〔(1)ク〕

【思考・判断・表現】

・場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。〔C(1)エ〕

【主体的に学習に取り組む態度】

・進んで場面の様子や登場人物の行動などの内容の大体を捉え、今までの経験や学習を生かして、登場人物になったつもりで演じようとしている。

7. 単元で取り上げる言語活動

- ・音読劇を通して、登場人物の気持ちを表現する。
- ・登場人物の気持ちを書いたり、伝え合ったりする。
- ・お話の感想を伝え合ったり、本の紹介をしたりする。

8. 教材観

本単元では、登場人物になりきって演じたり、想像した会話を伝え合ったりすることで、互いの読みを深めていく。くまの子が、海辺から持ち帰った貝殻を仲良しのうさぎの子に見せ、いちばんのお気に入りだった貝殻を、一晩悩んだ末にプレゼントするお話であり、くまの子とうさぎの子の会話は、短いながら気持ちを豊かに表現していて、児童の共感を呼ぶだろう。友だちとの関係が深まり始めるこの時期、相手の立場に立って考える思いやりの大切さや、友だちを思う優しさに共感しながら読むことができると考えられる。

9. 児童観

児童はこれまでに様々な物語を読んできている。『あめですよ』では、書かれている言葉と挿絵から様子を読み取る力を身につけた。『とんこととん』では、登場人物の行動を読み取り、展開を楽しむ力を高めた。さらに、『おおきなかぶ』では叙述をもとに場面の様子や登場人物の行動を想像する力を高めてきた。音読劇をした際は、多くの児童が主体的に活動できていた。

また、読書活動においては、本を読むことが好きな児童も多く、毎週の読書活動を楽しみにしたり、休み時間に学校図書館にいたりしている。

10. 指導観

本単元の重点指導事項は、学習指導要領における【思考力、判断力、表現力等】「C 読むこと」(1)エ「場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。」である。登場人物の行動や会話の背景には、それを引き起こす思いや考えがある。行動や会話を読み取りながら、そこにつながる人物の行動の理由を想像する力をつけていきたい。また、登場人物になりきって演じたり、想像した会話を伝え合ったりすることで、互いの読みを深めていながら、対話的に学び合う姿勢や関係を作っていきたい。

読書活動においては、ここで登場人物の行動の理由を軸に物語を読む楽しさを知り、以降の読書や物語を読む学習を意欲的に進める原動力にしていきたい。

11. 単元の指導と評価の計画(全6時間)

次	時間	学習活動	評価規準と評価方法		
			知識・技能	思考・表現・判断	主体的に学習に取り組む態度
第1次	1	<p>1 題名からお話の内容を想像し、お話の大体を捉える。</p> <p>①登場人物、会話文を確認する。 音読劇の役割分担をする。</p>	<p>①語のまとまりに気を付けて音読している。 (行動観察)</p>		<p>①楽しんで音読をしている。 (行動観察)</p>
第2次	2・3・4	<p>2 音読劇の練習をしながら、登場人物の様子を想像する。【言語活動】</p> <p>②くまのこが、かいがらを見せるときの気持ちを考える。 ・登場人物になったつもりで演じながら読み合う。 ・くまのこの気持ちを表情で表す。 ・くまのこの気持ちを書く。</p> <p>③くまのこが「ああ、ぼくといっしょだ。」と言った時と、夜一生懸命考えた時の気持ちを考える。(本時) ・登場人物になったつもりで演じながら読み合う。 ・くまのこの気持ちを表情で表す。 ・くまのこの気持ちを書く。</p> <p>④次の日の登場人物の気持ちを考える。 ・登場人物になったつもりで演じながら読み合う。 ・くまのこの気持ちを表情で表す。 ・くまのことうさぎのこの気持ちを書く。</p>		<p>②③④ 登場人物の行動を具体的に想像している。 (ワークシート)</p>	<p>②③④ 進んで登場人物の行動を想像し、ワークシートに気持ちを書こうとしている。 (行動観察・ワークシート)</p> <p>進んで登場人物になったつもりで演じようとしている。 (行動観察)</p>

第3次	5・6	<p>3 お話の感想を伝えたり、人物になりきって演じたりする。【言語活動】</p> <p>⑤ 音読劇発表会の準備をする。 ⑥ 音読劇発表会をする。</p> <p>[図書館活用] 登場人物に寄り添って児童が共感したり驚いたりできそうな本を並行して、読み進める。</p>	<p>⑤⑥ 語のまとまりに気を付けて音読している。 (行動観察)</p>		<p>⑤⑥ 学んだことをいかし、楽しんで音読をしている。 (行動観察)</p>
-----	-----	---	--	--	---

12. 本時の展開

(1) 本時の目標

登場人物の行動や会話から話の展開を読み取り、登場人物の気持ちを想像することができる。【思・判・表】

(2) 本時の評価規準

登場人物の行動を具体的に想像している。

(3) 本時の判断基準

十分満足できる状況	おおむね満足できる状況	支援を要する子どもへの手立て
登場人物の気持ちを想像し、自分の考えを表現することができる。 <u>また、叙述を基に理由を説明できる。</u>	登場人物の気持ちを想像し、自分の考えを表現することができる。	登場人物の気持ちを聞きながら、登場人物の表情をかかせる。また、理由を聞きながらその時の気持ちを書かせる。

(4) 主体的に取り組む子どもの姿

観点	めざす子どもの姿	手立て
自己決定力	・登場人物の気持ちを考えることができる。	・音読劇をすることで、登場人物の気持ちを想像しやすくする。
他者とつながる力	・音読劇の練習を通して、友だちに考えを伝えたり、友だちの考えを聞いたりしている。	・登場人物の気持ちを書く際、登場人物の表情を書かせることで、登場人物の気持ちを想像しやすくしたり、書きやすくしたりする。

(5) 本時の学習過程

時	学習活動(○)と 予想される子どもの意見(・)	指導上の留意点(○)と 教師の主な発問(「 」)	評価規準(評価方法)
5	○前時をふりかえる	○前時に考えたくまのこの気持ちをふりかえらせる。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>おんどくげきの れんしゅうをして、くまのこのきもちをかんがえよう。</p> </div>			
13	○グループで音読劇の練習をする ① グループで練習をする。 ② 工夫しているグループを紹介する。	○机間指導しながら、工夫して 読んでいるところについて 聞いたり、登場人物の気持ち を聞いたりする。	【主】 進んで登場人物になった つもりで演じようとしてい る。(行動観察)
10	○グループで劇を発表する。 ① 「ああ、ぼくといっしょだ。」と書かれている 時のくまのこの気持ちを、登場人物になり きって演じながら考える。 ・ぼくといっしょでうれしい。 ・2番目なら、あげようと思っていたのに。 どうしよう。 ② 「いっしょうけんめいかんがえました。」と 書かれている時のくまのこの気持ちを考 える。 ・いちばんのおきにいりだからどうしよう。 ・だいじなともだちだからあげよう。 ・ともだちをよろこばせたい。 ・よろこんでくれたらじぶんもううれしい。	「くまのこは、どんな気持ちだっ たのでしょうか」 「くまのこは、どんなことを考 えたのでしょうか」	【思・判・表】 登場人物の行動を具体 的に想像している。 (ワークシート)
10	○夜に一生懸命考えた、くまのこの気持ちを表 情で表したり、吹き出しに書いたりする。 ・うさぎちゃんにあげよう。 ・またうみにさがしにいこう。	○気持ちを考えにくい児童に は、くまのこの気持ちを表情 で表し、気持ちを聞き出す。	
5	○全体で交流する。	○自分の考えと友だちの考え と比べながら聞くように声か けする。	
2	○音読をする。	○くまのこの気持ちを込めて 音読するように声かけする。	

13. 板書計画

かいがら
めあて おんどくげきのれんしゅうをして、
くまのこのきもちをかんがえよう

うさぎのこにもみてほしい。
うさぎのこにもあげよう。

1ばん
2ばん

ああ、ぼくと いっしょだ。

ぼくといっしょでうれしい。
ももいろだったら あげれたのに。
どうしよう。

そのよる、くまのこは、
いっしょうけんめい かんがえました。

しまもようのかいがらを
あげようかどうしよう。
しまもようのかいがらを
あげよう。



14. ご高評欄